

あんしんウィンドウ説明書

2014年6月10日

製造元

〒520-3031 滋賀県栗東市糺2-4-5 ウイングプラザ2階

TEL 077-553-7730

(株)リブ技術研究所

はじめに



取り付けは、本説明書を十分理解したうえ、おこなってください。
取り付けを誤ると、事故、破損、または故障の原因となる
おそれがあります。

機能

既存のパワーウィンドウに挟み込み防止機能を追加します。
既存のスイッチをダブルクリックするとその方向にオート動作をします。

キット内容

ドア3枚分を1セットして出荷しています。



■制御基板 x3



ディップスイッチ

↑ON

ディップスイッチ

出荷時はすべてオン状態です。挟み込みを誤検知する場合は、感知レベルをあげてください。おおよその設定値を下記に示します。

ディップスイッチ状態		挟み込み 感知レベル	適合車種	
SW1	SW2		窓の状態	例
ON	ON	1	湾曲していない小型タイプ	N-BOXリア席
OFF	ON	2	湾曲していない大型タイプ	N-BOX助手席
ON	OFF	3	湾曲しているタイプ	シビック
OFF	OFF	4	湾曲している大型タイプ	オデッセイ

リード線

下記の配線をおこなってください。

2芯ケーブル	窓閉検出(窓全閉位置でオープン)
黄	スイッチ側(上昇時プラス電圧)
茶	スイッチ側(下降時プラス電圧)
緑	モータ側(下降時プラス電圧)
赤	プラス電源
白	モータ側(上昇時プラス電圧)

■窓閉検出センサ(マイクロスイッチ) x3



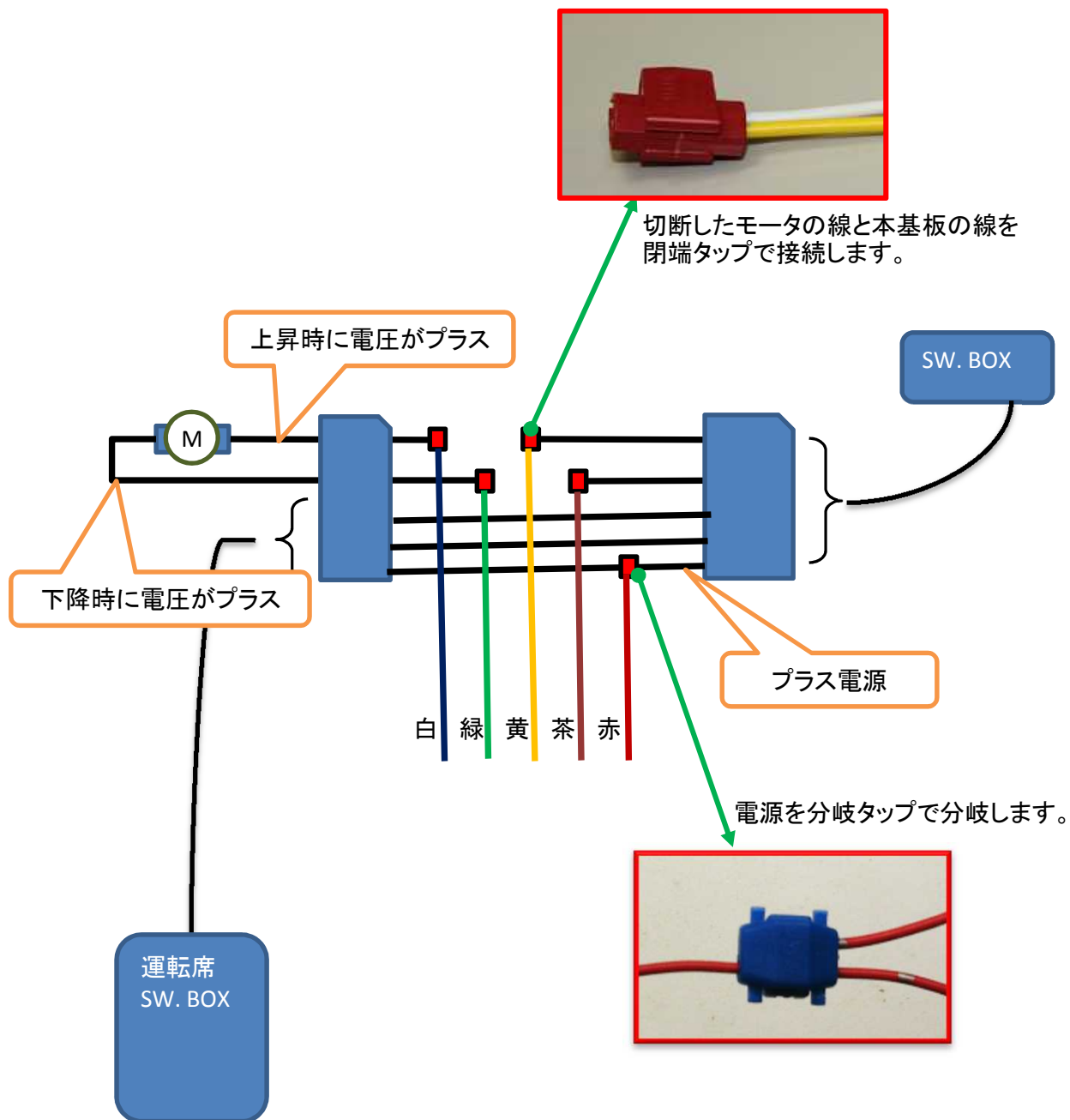
窓閉検出センサは挟み込み防止の動作領域を決めています。



窓閉検出センサは、制御基板に配線済みです。

配線

下記の図を参考にして、配線をおこなってください。



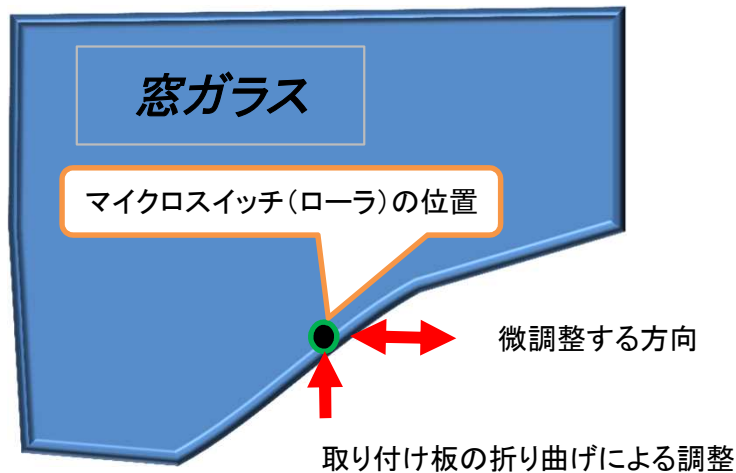
上図の分岐タップ、および閉端タップは付属していません。
制御基板からのリード線は 0.75sq です。
線径にあった分岐タップ、および閉端タップをご用意ください。

窓閉検出センサ取り付け

窓閉検出センサで挟み込み防止の動作領域を決めています。
窓閉検出センサのマイクロスイッチがオンで挟み込み防止が動作します。
窓閉検出センサは全閉状態で挟み込み防止を動作しない位置に取り付けます。

以下、取り付け手順を記述します。

多くの窓ガラスの下端は、斜め(曲線)にカットされています。
最初に窓閉検出センサの位置を上下方向で決め、左右方向にずらして微調整をしながら決めてください。

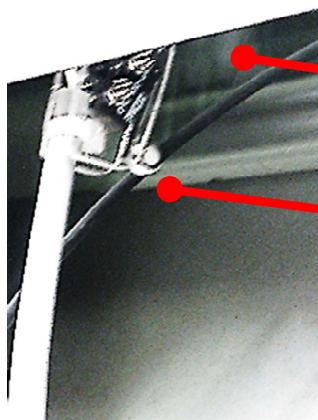


■ステップ1

おおよその位置を決める

窓を全閉状態にして、窓閉検出センサを下から上方向でマイクロスイッチがオンになる位置を決めてください。

取り付け板を窓のフレームで折り曲げ、フレームを挟む込むように固定してください。(仮止め)



窓ガラス

窓の全閉位置でマイクロスイッチがオンになる



マクロスイッチがオンになるところで取り付け板を折り曲げ、窓のフレームを挟むように固定してください。
(左右に移動できる程度に)

■ステップ2

窓閉検出センサを決定する

窓閉検出センサを左右に移動させ、全閉状態で、マイクロスイッチが確実にオフになる位置を見つけてください。



左右に移動しながら調整します。

■ステップ3

窓閉検出センサを固定する

窓のフレームと窓閉検出センサの取り付け板とを両面テープを貼り、しっかり固定してください。



窓が全閉状態でマイクロスイッチがオフになることを確認してください。マイクロスイッチがオフの領域は挟み込み防止機能は動作しません。

動作仕様

■ 挟み込み防止機能

窓上昇中に挟み込みを検知すると、約200mm反転下降します。
窓の動作は、モータに流れるリップル電流で検知します。
窓閉検出(マイクロスイッチがオフ状態)では、挟み込み防止機能は働きません。

■ 安全機能

窓閉検出(マイクロスイッチがオフ状態)では、オート上昇動作は起こりません。

オート上昇動作中に、窓閉検出(マイクロスイッチがオフ状態)が1秒続くと、モータは停止します。

上昇、または下降スイッチがオンで窓が動作しない状態が12秒間続くと、モータは停止します。解除は電源を再投入してください。

電源投入時に、上昇、または下降スイッチがオンの状態では動作しません。
一度オフにしてから使用してください。

上昇操作で窓が上昇しなくても、挟み込み防止機能は働きます。
(窓閉検出(マイクロスイッチがオフ状態)位置は除く)

■ 動作温度

-30°Cから85°C ただし、結露しないこと。